

第12号事業

横浜市立市民病院ESCO事業最優秀提案を選定!!

～ 光熱水費等 約7,400万円/年の削減～

横浜市第12号事業として公募した横浜市立市民病院ESCO事業で、事業者からの提案を「横浜市ESCO事業提案審査委員会」において厳正に審査し、**最優秀提案を選定**しました。

事業者

最優秀提案をした事業者は、**高砂熱学工業株式会社**（管工事業）・**株式会社電成社**（電気工事業）の2社からなるグループです。

提案内容

多岐にわたる省エネルギー技術を導入することにより、高い省エネルギー率の実現や大幅な二酸化炭素排出量の削減を図ります。

削減効果は、「**省エネルギー率**」が26.6%、「**CO₂排出削減率**」が33.1%となり、1年間の削減量は、**一般家庭約920世帯分の年間使用エネルギー量、杉の木約15万2千本分の年間CO₂吸収量**に相当します。

「**光熱水費等削減額**」は約7,400万円/年と、現在消費している年間の光熱水費等約3億5,600万円の約21%を削減する提案となっています。

主な改修内容

- ・常時運転熱源機の100%更新
（高効率型熱源機器の導入）
- ・IPMモータによる変流量制御
- ・空調機のインバータ制御化
- ・高効率照明の導入
- ・LED誘導灯の採用
- ・太陽光発電システムの導入
- ・節水器具導入 ほか



横浜市立市民病院

全体で17項目にわたる省エネルギー対策を行います。

上記に伴う改修費用は約3億2500万円です。

：IPMモータとは、回転子に永久磁石を用いた高効率モータで、電気自動車等に採用されています。

審査経過

今回の事業者公募では、3企業グループから応募があり、事前公表した審査基準に基づき、外部委員により、それぞれの専門的な観点から、公正かつ客観的に評価し、総合的な審査をしました。

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会委員

	氏名	職名
委員長	よした さとし 吉田 聡	国立大学法人 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授
委員 (職務代理者)	いわふね ゆみこ 岩船 由美子	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 エネルギー工学連携研究センター 准教授
委員	さえくさ やすお 三枝 康雄	株式会社 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 部長
	ふかがた こうじ 深潟 康二	慶應義塾大学理工学部 機械工学科 専任講師
	よねやま たかし 米山 亨志	日産自動車 株式会社横浜工場 工務部工務課 課長

施設概要

横浜州市立市民病院

- 所在地：横浜市保土ヶ谷区岡沢町5番地
- 敷地面積：20,389.41㎡
- 対象施設

がん検診センター

- 建築構造：RC造
地上4階、地下1階
- 延床面積：4,212.00㎡
- 建物竣工年：1980年

管理棟

- 建築構造：S造
地上3階
- 延床面積：1,166.82㎡
- 建物竣工年：1982年

南病棟

- 建築構造：SRC造
地上8階、地下3階
- 延床面積：17,134.73㎡
- 建物竣工年：1986年

東病棟

- 建築構造：SRC造
地上5階、地下2階
- 延床面積：11,899.14㎡
- 建物竣工年：1988年

西病棟

- 建築構造：SRC造
地上5階、地下2階
- 延床面積：9,119.67㎡
- 建物竣工年：1991年

緩和ケア病棟

- 建築構造：RC造
地上2階、地下1階
- 延床面積：1,289.48㎡
- 建物竣工年：2008年

選定経過と今後のスケジュール(予定)

- 公募：H22.4.9～4.26(参加表明)
- 審査委員会：3回開催
- 事業者選定：H22.8
- 本契約：H23.8
- 工事完了：H24.3
- ESCO サービス開始：H24.4～

ESCO 事業とは (Energy Service Company の略称です。)

既存施設の設備改修において、省エネルギー化と維持管理費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保障する事業です。